

令和2年度はコロナ禍の中で県の出前講座としての「あいサポーター研修」、また様々なイベントや取り組み等の中止により「信州あいサポート運動」の推進活動が制限された状況でしたが、ヘルプマークディレクターやあいサポートメッセンジャーの皆さんがそれぞれにお声掛けしていただき、コロナウィルスへの対応策を講じながらの研修が行われたり、認定企業・団体の申請も少しずつ届いています。この通信で、あいサポート運動の推進に向けた活動の一部をご紹介します。まずは新たに認定されたあいサポート企業・団体をご紹介します。

※例年であれば、県庁にて認定証の交付式を開催していましたが、こちらもコロナ感染拡大防止の観点より参集を控え担当職員やヘルプマークディレクターの方々をお願いして、それぞれの企業・団体に直接お渡しするという形での伝達になりました。

令和2年度の新規認定あいサポート企業・団体の紹介

【認定番号125号 みんなのテンホウ株式会社テンホウ・フーズ】

みなさんよくご存じの「テンホウ」は全県展開のラーメン店。大石社長のツルの一声で！全店にヘルプマークのポスターを貼っていただいています。ご来店の際にはぜひご覧ください。



同時期に認定企業となっていたいただいた有限会社エーシン様の事務所をお借りして、ヘルプマークディレクターの牛山玲子氏より認定証を伝達していただきました。

【認定番号126号 特定非営利活動法人なかまと】

障がい者が地域で自立生活できる社会の実現を図るため、障がい者の自立支援に関する事業や障がい者や高齢者が住みやすいまちづくりに関する事業を行い、ノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的としています。

法人名の由来…地域で暮らす仲間とともに歩もうという願いを込め「なかまと」事業所には、仲間たちが手と手をつないでいこうという願いから「てとてと」を冠することとしました。



【認定番号127号 NPO法人Happy Spot Club】

障がい者がの有無、年齢、生まれ育った環境にかかわらず、お互いを思いやり、尊重し、誰もが生き生きと暮らせる社会になることを願って活動しています。

社会参加を目指して生きづらさを感じている方、障がいのある方の自己実現のお手伝いをしたり、認知症に対する理解を広めるための活動を行ったり、児童養護施設の子どもに様々な体験をしてもらうなど幅広い取り組みをしています。



【認定番号128号 有限会社エーシン】

障がい者がの有無、年齢、生まれ育った環境にかかわらず、お互いを思いやり、尊重し、誰もが生き生きと暮らせる社会になることを願って活動しています。

社会参加を目指して生きづらさを感じている方、障がいのある方の自己実現のお手伝いをしたり、認知症に対する理解を広めるための活動を行ったり、児童養護施設の子どもに様々な体験をしてもらうなど幅広い取り組みをしています。



【認定番号129号 茅野市民生児童委員協議会】



地域で生活のしづらさを抱えている人々の「見守り・相談・つなぐ」活動

1. 変わらぬ住民の身近な相談相手、見守り役としての活動
2. 地域の福祉課題を明らかにしていく
3. 児童委員であることを意識した活動
4. 多様な関係者をつなぐ「結束店（ハブ）」となること
5. 住民や地域の代弁者としての積極的な意見具申、提言
6. 地域づくりの担い手となること

令和3年1月5日、茅野市長より協議会の戸田会長への認定証の伝達式がありました。

～今後もあいサポート運動やヘルプマークに関連した情報等をお届けします～

